

～薄毛とSNSに関する意識調査“銀座HSクリニック調べ”～

より頻繁に「いいね！」するのは薄毛の男性

## 薄毛の男性はSNS上での出会いに積極的 ～プロフィール写真でも薄毛を隠さないが、話題にするのは抵抗あり～

科学的根拠のある治療法を提供する薄毛治療専門医院 銀座HSクリニック(所在地:東京都中央区、院長:北嶋渉)は、2013年7月に、インターネットにより20～60代の男性400名を対象とした「薄毛とSNSに関する意識調査」を実施しました。

これは、薄毛とSNSの間にどのような関係性があるのか、また、薄毛男性のSNS上での積極性と男性ホルモンとの関係性を把握・検証することを目的に行った調査で、様々な事象と薄毛の関連性をテーマとした調査の第3弾です。

### 《調査結果概要》

■「異性との出会い」に期待している薄毛の男性は薄毛でない男性の約2倍

■薄毛の男性はFacebook上で「いいね！」をする回数が薄毛でない男性よりも多い

■プロフィール写真に「若いころの自分の写真を使用」薄毛の男性は、薄毛ではない男性の約2倍

■薄毛の男性は、SNSの投稿の中で「髪の毛に関する話題」がもっとも嫌いと回答

#### —調査概要—

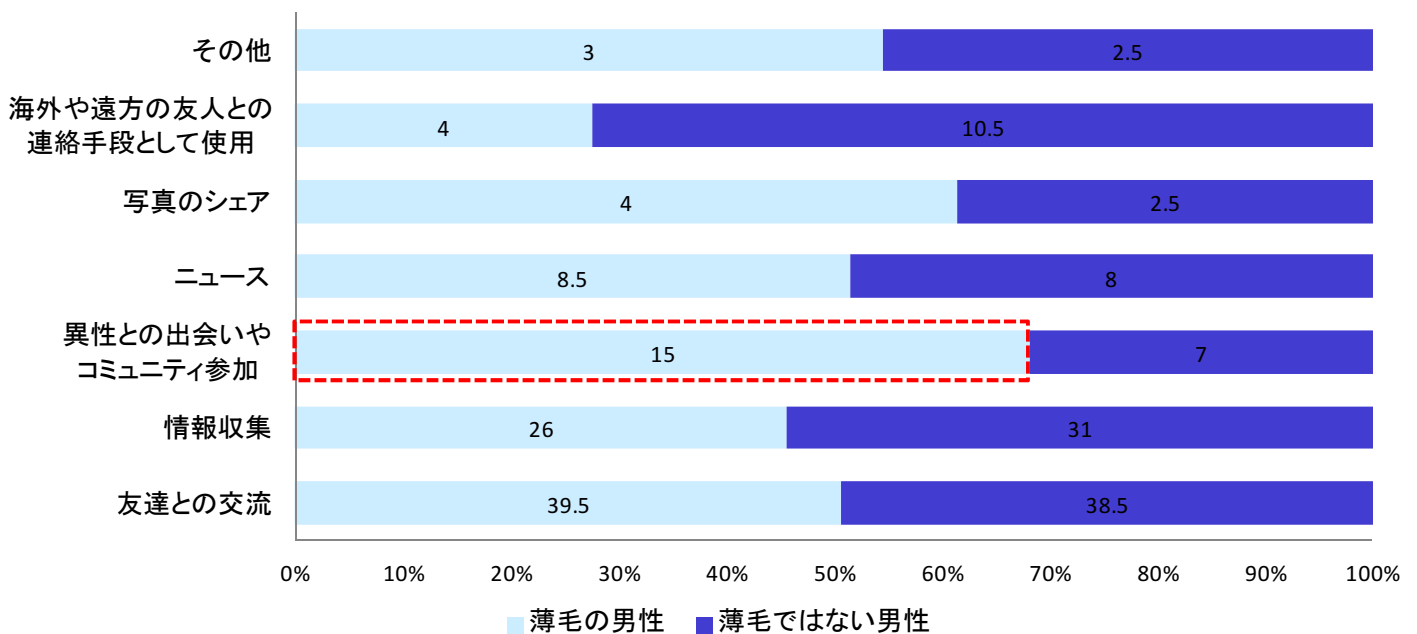
- 調査タイトル : 薄毛とSNSに関する意識調査
- 調査対象 : 20～60代の男性400名
- 調査対象者の内訳 : 薄毛男性(200名うち20代、30代、40代、50代、60代 各40名)  
薄毛ではない男性(200名うち20代、30代、40代、50代、60代 各40名)  
※自己申告となります
- 調査主体 : 銀座HSクリニック
- 調査時期 : 2013年7月
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査地域 : 全国
- 有効回答数 : 400サンプル
- 実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

## ◆「異性との出会い」に期待している薄毛の男性は薄毛でない男性の約2倍◆

Facebookを利用している回答者のうち67.5%が「友達との交流や情報収集」に使用していると回答しました。その中でも薄毛の男性は、「異性との出会い」や「コミュニティ参加」を期待している人が、薄毛ではない男性より約2倍多いという結果になりました。

2013年4月に銀座HSクリニックが行った「薄毛と仕事に関する意識調査」では、薄毛の男性の方が、薄毛ではない男性に比べ、出世意欲が高いことが分かっています。男性ホルモンとの関係性はいずれも明らかではありませんが、ここでも薄毛の男性の積極性が目立った結果となりました。

【集計結果】 SNSの利用目的を教えてください。(n=400)

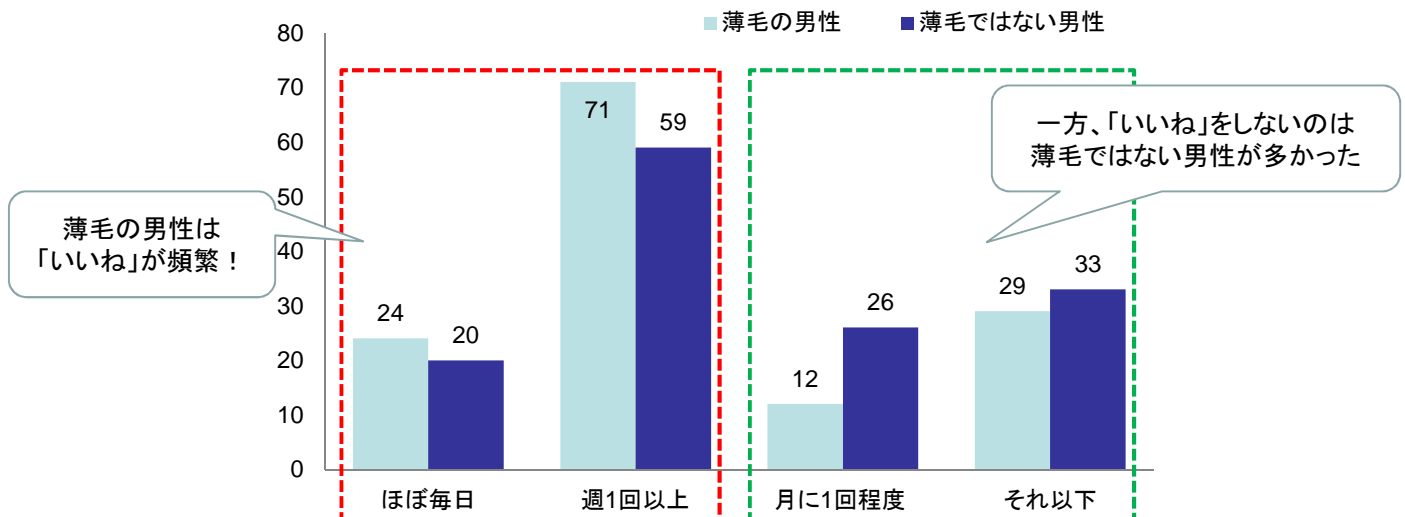


## ◆薄毛の男性はFacebook上で「いいね！」をする回数が薄毛でない男性よりも多い◆

薄毛の男性は、薄毛ではない男性よりも頻繁に「いいね！」をしている人が多いことがわかりました。友人の投稿にいいね！機能を利用する頻度をたずねたところ、「ほぼ毎日」、「週1回以上」と回答した人は、薄毛の男性が薄毛ではない男性をいずれも上回る結果となりました。

一方で、「月に1回程度」もしくはそれ以下と回答した人は、薄毛ではない男性の方が多くなっています。薄毛男性の方がSNSを「異性との出会い」や「コミュニティ参加」に使用しているということもあり、友人の投稿に敏感に反応している傾向がみられました。

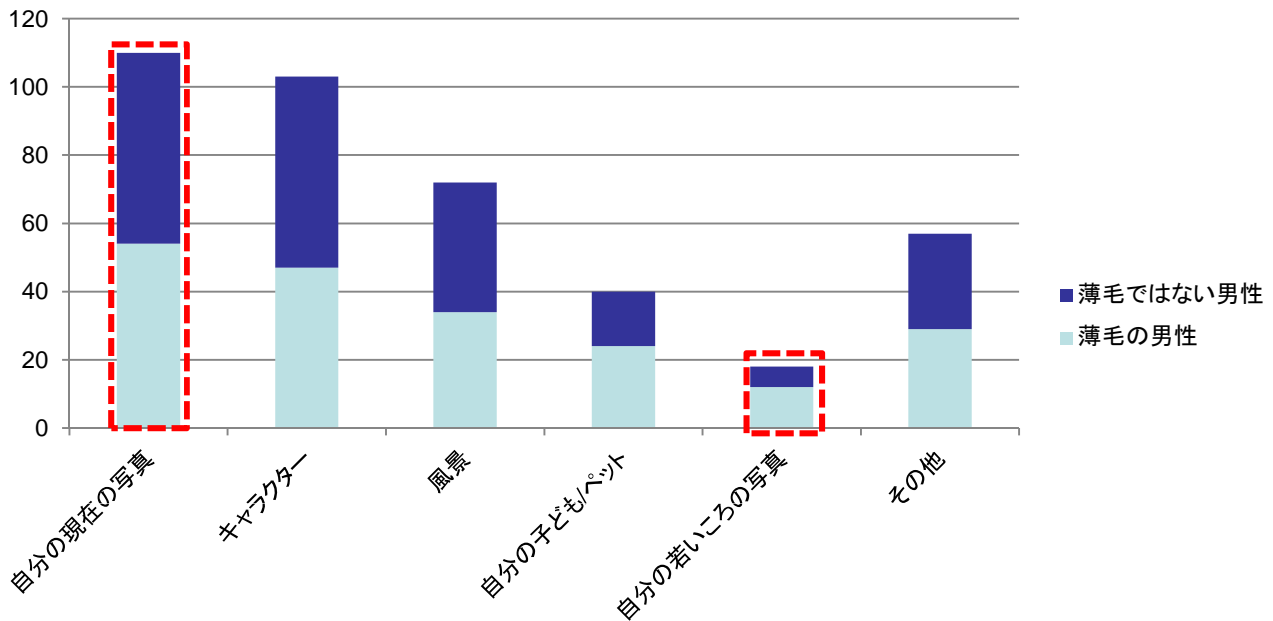
【集計結果】 Facebook上で友人の投稿に【いいね】機能を利用する頻度(n=400)



## ◆プロフィール写真に「若いころの自分の写真使用」 薄毛の男性は、薄毛ではない男性の約2倍◆

薄毛、薄毛ではないに関わらず、SNSを使用している男性は、プロフィール写真に現在の自分の写真を使っている人がもっとも多いということがわかりました。SNSでは顔が見えないため、素性を隠したり、自分を「盛ったり」することができると言われていますが、大半の男性は、ありのままの自分を、しかも現在の写真を使用しているという結果となりました。一方で、「自分の若い事の写真を使用している」と回答した人は全体でした。薄毛の男性が薄毛でない男性の倍以上が「自分の若いころの写真を使用していることがわかりました。

【集計結果】 SNSで使用しているプロフィール写真について (n=400)



## ◆薄毛の男性は、SNSの投稿の中で「髪の毛に関する話題」がもっとも嫌いと回答◆

SNS投稿でもっとも嫌いな話題について質問したところ、薄毛の男性と、薄毛でない男性とで回答が大きく分かれました。薄毛ではない男性がもっともきらいな話題は「他人の年収について」だったのに対して、薄毛の男性はやはり「髪の毛(薄毛)について」の話題がもっとも嫌いということがわかりました。薄毛の男性は、現在の自分をプロフィール写真に使用している人も多くみられましたが、薄毛をネタにするとなると話は別ようです。一方で薄毛ではない男性は、特に「髪の毛」や「匂い」など、身体的な話題については特に気にならず、「年収」や「リア充な自分」など、他人のプライバシーに関するネタが嫌いな傾向となりました。

【集計結果】 SNSの投稿で嫌いな話題ランキング

	薄毛の男性	薄毛ではない男性
1位	髪の毛(薄毛)について	他人の年収について
2位	他人の年収について	体型について
3位	匂いについて	リア充な自分について

## ～銀座HSクリニック院長 北嶋渉のコメント～

今回の「薄毛とSNSに関する意識調査」では、現在ますます社会的に存在感を大きくしているSNSにおいて、薄毛男性の積極性や行動について把握・検証することを目的に調査を行いました。現在、薄毛や頭髪に関する話題の多くがインターネット上で活性化しており、「薄毛であることがコンプレックスで積極的になれない」とする当院の患者様も多くいらっしゃいます。この結果はインターネットを取り込んだ薄毛治療におけるメンタルケアの進展を考察するためにも、有効なデータになり得るのではないかと思います。SNSはインターネット上とはいえ、人とのコミュニケーションの場です。薄毛に関する話題はやはりデリケートな問題になり得ることを再認識しました。

現在薄毛でお悩みの方々に少しでも自信を取り戻して頂けるよう、当院では今後も個々に応じた適切な治療を提供して参ります。

### 【参考】AGAとは

AGAとは、男性型脱毛症のことで「Androgenetic Alopecia」の略称です。成人男性に発症する進行性の脱毛症で、前頭部(ひたい)や頭頂部の毛が一定のパターンで薄くなるのが特徴です。成人男性の脱毛症の約95%は、このAGAによるものだといわれています。

AGAは、遺伝や生活習慣が主な原因とされてきましたが、近年、男性ホルモン的一种である「テストステロン」が、頭皮に存在する「5α還元酵素」によって「ジヒドロテストステロン(DHT)」に変換されることが大きな要因であることが判明しています。その発生を抑制するのが、厚生労働省が認可した最新の薄毛治療薬であるプロペシアです。プロペシアの服用によって、男性の薄毛は、ほとんどの場合改善が可能です。

### 【参考】銀座HSクリニックとは

銀座HSクリニックは、日本皮膚科学会によるAGA(男性型脱毛症)診療ガイドラインに基づき、科学的根拠のある薄毛治療を提供しています。内服薬(プロペシア)処方その他、「HS式ノーニードルメソセラピー」「ヘアグロウスタンプ」などの有効成分を用い発毛効果を高める外的治療や、頭皮環境を整える「トータルヘッドセラピー」、体質改善のための「漢方薬の処方」「発毛促進点滴」を併用し、患者様一人ひとりの症状、進行具合、生活習慣などに合わせた“オーダーメイドの治療”をご提案しています。

#### ■銀座HSクリニック 概要

所在地: 東京都中央区銀座1-9-12 6

階

院長: 北嶋渉

診療時間: 12時～21時

定休日: 年中無休(年末年始を除く)

お客様電話番号: 03-5159-6107

URL: [www.hsclinic.jp](http://www.hsclinic.jp)

